

水稻瓦版 ～中後期除草剤編～

一年生雑草



ノビエ

- 【方言名】ヒエ、ヒユ
- ・イネ科雑草。草姿がイネに似ており葉鞘と葉身の境目にある「葉耳」及び「葉舌」の有無で区別します
 - ・カメムシ等は稲よりノビエが大好きなため、水田内での増殖源となる



ホタルイ

- 【方言名】イグサ、トウスミゾーレ
- ・カヤツリグサ科の問題雑草
 - ・草姿は多年生雑草のクログワイによく似ており、塊茎の有無（無し）と花の咲く位置（茎上部）で判断します



イボクサ

- ・ツユクサ科の一年生雑草
- ・畦畔から水田内に侵入する、近年問題となっている水田雑草
- ・代かき等で切断された茎からも増殖するため、水田内で広がりやすい

多年生雑草



オモダカ

- 【方言名】ヤジリ、ヤジルシ、クワイ
- ・オモダカ科の多年生雑草
 - ・矢じり葉が特徴で、上部に3個ずつ白い花をつけ、根の先に塊茎がついている



クログワイ

- 【方言名】トウスミ、ゾーレ、クワイ
- ・カヤツリグサ科の多年生雑草
 - ・草姿がホタルイによく似ており、塊茎の有無（有り）と花の咲く位置（茎先端）で判断します



ナガエツル/ゲイトウ

- ・ヒユ科の多年生雑草
- ・近年関東以西に点在し、水田、畦畔、用水路、河川などに成育する**外来種雑草**。切断片による繁殖が主体。茎はほふくし、分枝しながら長く伸び、折れやすく、節から発根する。水系から侵入対策と水田、畦畔含む水田全体での防除が必要となる。

雑草名	オススメの中後期除草剤	上手な使い方とポイント
ノビエ・広葉雑草が残った圃場	クリンチャーバスME液剤	①使用時期：移植後15日～ノビエ5葉期但し、収穫50日前まで ②使用方法：落水散布 ③散布後3日間は入水しない。 ④ 使用薬量：1000 ml/10a ⑤ 散布水量：100ℓ/10a（100倍液） ⑥ 特徴：ノビエに効果がある「クリンチャー剤」と広葉雑草に効果を示す「バサグラン剤」との混合剤。
	ワイドアタックSC（液剤） ワイドアタックD（粒剤）	① 使用時期：（SC）移植後20日～ノビエ6葉期まで但し、収穫30日前まで（粒剤）移植後15日～収穫60日前 ② 使用方法：落水散布または、ごく浅く湛水して散布。散布後3日間は入水しない。 ③ 使用薬量：100ml/10a・1kg/10a ④ 散布水量：100ℓ/10a（1000倍液） ⑤ 特徴：しっかりと茎葉散布処理をする。
	アトリ1kg粒剤 アトリ豆粒250	①使用時期：移植後14日（稲5葉期以降）～ノビエ4葉期但し、収穫45日前まで ② 使用方法：湛水散布。散布後3日間は入水しない。 ③ 使用薬量：1kg/10a・250g/10a ④ 特徴：コウキヤガラ、オモダカなどの多年生雑草に対する効果高い。ノビエも対象にする場合は、葉齢に注意し散布する。
	レブラス1kg粒剤 レブラスジャンボ	① 使用時期：移植後14日～収穫60日前まで ② 使用方法：湛水散布・散布後3日間は入水しない。 ③ 使用薬量：1kg/10a・400g（40g×10）/10a ④ 特徴：オモダカ・ヒエ・イボクサなどに効果あり
	ロイヤント乳剤	① 使用時期：移植後20日後～ノビエ5葉期但し、収穫45日前まで ② 使用方法：湛水散布・落水散布・ごく浅く湛水して散布・散布後3日間は入水しない。 ③ 使用薬量：薬量：200ml・希釈水量 100L/10a ④ 特徴：イボクサ・クサネムなどに効果あり
	ウィードコア1キロ粒剤	① 使用時期：移植後7日～ノビエ4葉期、ただし収穫60日前まで ② 使用方法：湛水散布・散布後3日間は入水しない。 ③ 使用薬量：1kg/10a ④ 特徴：ナガエツルノゲイトウなどに効果あり
ノビエのみ残った圃場	クリンチャー1kg粒剤	① 使用時期：移植後7日～ノビエ4葉期・移植後25日～ノビエ5葉期但し、収穫30日前まで ② 使用方法：湛水散布。散布後3日間は入水しない。 ③ 使用薬量：3kg/10a ④ 特徴：ノビエのみ効果を発揮。
広葉雑草のみ残った圃場	バサグラン粒剤・液剤	① 使用時期：田植後15～55日但し、収穫60日前まで（液剤は収穫50日前まで） ② 使用方法：落水散布 散布後3日間は入水しない。 ③ 使用薬量：（粒剤）3～4kg/10a・（液剤）水量700ml・薬量70ml・100倍液 ④ 特徴：対象草種は広葉雑草のみ。しっかりと茎葉散布処理をする。

※上記の登録内容は令和4年5月時点となります。使用時には必ずラベルをお読みください。